

令和6年度 第3回 北陸地方整備局 新技術活用評価会議 を開催します ～公共事業等の新たな技術の活用と普及にむけて～

北陸地方整備局では、公共工事等への有用な新技術の活用促進を図ることを目的として、「令和6年度 第3回北陸地方整備局新技術活用評価会議」を開催します。

なお、審議する案件は下記に示す事後評価3件並びに有用な技術の選定となります。

1. 開催日時 令和7年3月6日（木） 13：15～15：15
2. 開催場所 北陸地方整備局 4階 共用会議室
3. 議 題（1）事後評価
 - 1）シンプルロック KT-210073
 - 2）ハードラインアクア#21 MD工法 KT-220235
 - 3）地盤改良施工支援システム 「Tarpos 3D」 KTK-200015（2）活用促進技術の指定（審議）
 - 1）シンプルロック KT-210073
 - 2）ハードラインアクア#21 MD工法 KT-220235
 - 3）地盤改良施工支援システム 「Tarpos 3D」 KTK-200015

※ 技術について詳しくは、NETISホームページをご覧ください。
(NETIS HP: <https://www.netis.mlit.go.jp/netis/>)
4. 留意事項 ①報道関係者は、腕章又はネームプレート等（報道関係者と判断できるもの）の着用を必ずお願いします。
②取材・撮影は評価会議冒頭の「座長挨拶」までとし、審議中の取材・撮影はご遠慮願います。
5. その他 評価会議における評価結果および活用促進技術の指定の結果は、会議後必要な手続きを経て、後日上記HPに公表します。

【同時発表記者クラブ】

新潟、富山、石川県内

その他・専門紙



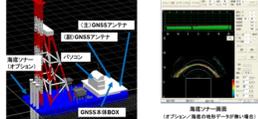
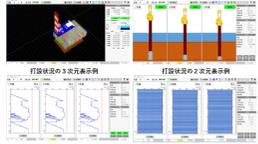
問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局

TEL：025-280-8880（代表）

企画部 施工企画課長 姫野 利宗（内線 3451）

■令和6年度 第3回新技術活用評価会議 審議技術一覧表

No.	区分	技術名称	開発年	登録年度	登録番号	分類	申請従来技術	技術概要	説明写真	開発会社 (会社所在地)
1	事後評価	シンプルロック	2017	2021	KT-210073-A	付属施設 - その他	ワイヤクリップ	本技術は、落下防止ワイヤロープの端末処理に、シンプルロックを用いる簡易な端末加工方法で、従来は、ワイヤクリップで対応していた。本技術の活用により、部品点数の少ないシンプルな構造のため、簡単に取り付けが可能となるので、施工性の向上が図れる。	 	東京製綱株式会社 (〒135-8306 東京都江東区永代二丁目37番地28号滋澤シティブレイス永代5階)
2	事後評価	ハードラインアクア#21 MD工法	2022	2022	KT-220235-A	付属施設 - 区画線工	水性ペイント式(車載式)区画線設置工	本技術は、2種類の乾燥促進剤による超速乾性の水性路面標示塗料を用いた区画線設置工法で、従来は、水性ペイント式(車載式)区画線設置工で対応していた。本技術の活用により、塗料の乾燥時間を短縮でき、早期の交通開放が可能となるため、施工性の向上が図れる。	 	アトムクス株式会社 技術本部 第二技術部 技術四課 (〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1)
3	事後評価	地盤改良施工支援システム「Tarpos 3D」	2020	2020	KTK-200015-A	港湾・港湾海岸・空港 - 海上地盤改良工 - 施工管理 - その他	作業員による測量と誘導	本技術は、GNSSから2D+3D位置情報を取得し、平面+3D表示で杭芯を誘導する地盤改良システムで、従来は作業員による測量と誘導で対応していた。本技術の活用により、オペレータの技量に関係なく操作でき、精度の高い配置が可能であるため、施工性および精度の向上が図れる。	  	西尾レントオール株式会社 通信測機技術部 技術サポート課 (〒565-0853 大阪府吹田市春日1-7-33)